

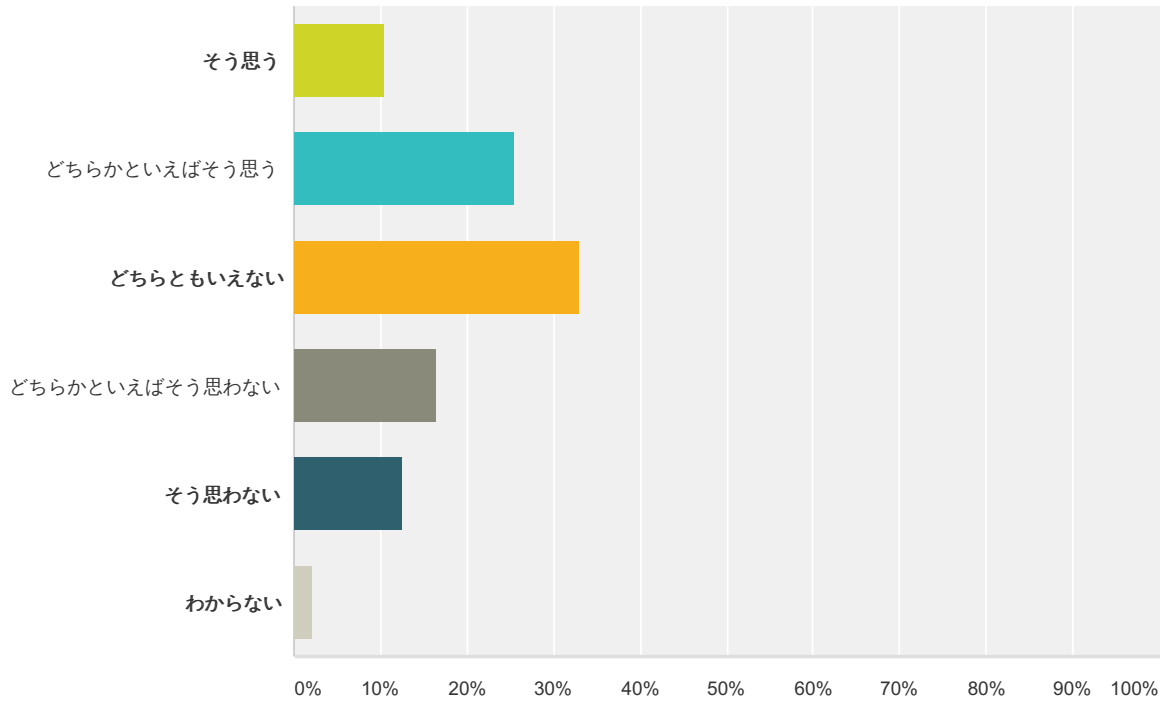
「IoT時代のロジスティクス in 2030」
(JILS総研レポート Vol.1)に係る
Webアンケート調査結果

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
JILS総合研究所

2016年12月

Q30 物流情報システムが各社によって異なり、標準化された環境とはいえない状態です。今後、IoTの進展につれて、会社によって異なる物流情報システムの共通化が進むと思いますか。

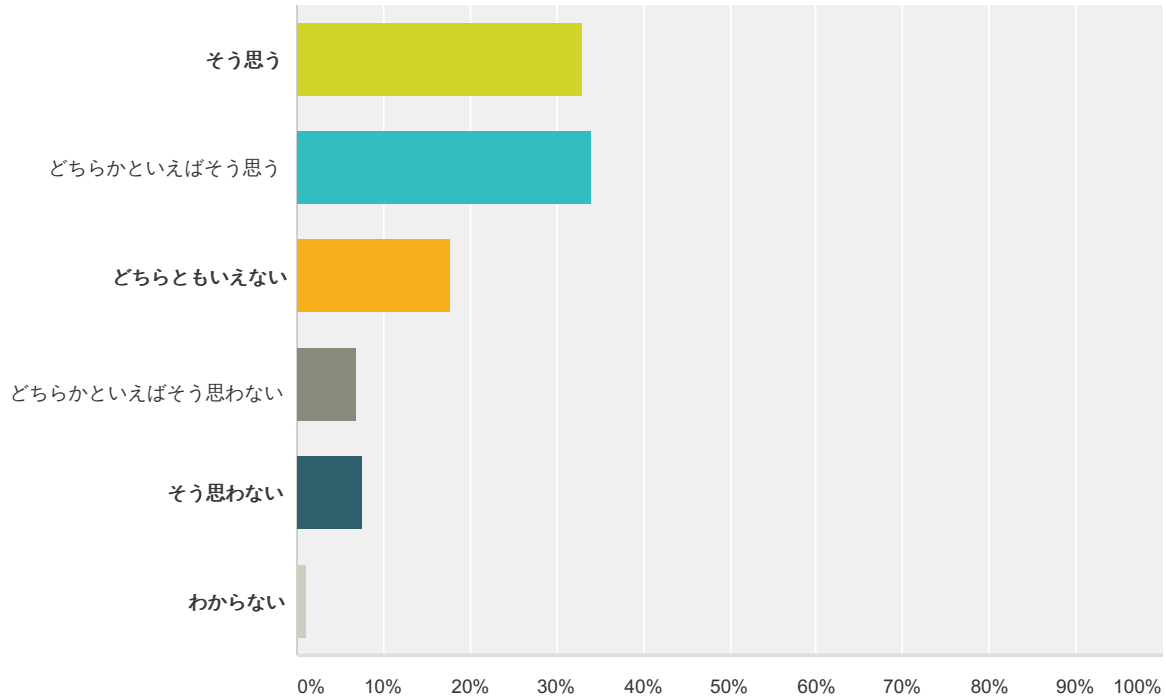
回答: 949 スキップ: 128



回答の選択肢	回答数	割合
そう思う	100	10.54%
どちらかといえばそう思う	241	25.40%
どちらともいえない	314	33.09%
どちらかといえばそう思わない	156	16.44%
そう思わない	119	12.54%
わからない	19	2.00%
合計	949	

Q31 行政では、自動走行やドローンなど、情報通信技術を用いた様々なハードウェアに関する取組みへの支援が行われています。今後、情報化を活用した物流・ロジスティクスを推進するうえで、行政によるハードインフラの整備に期待しますか。

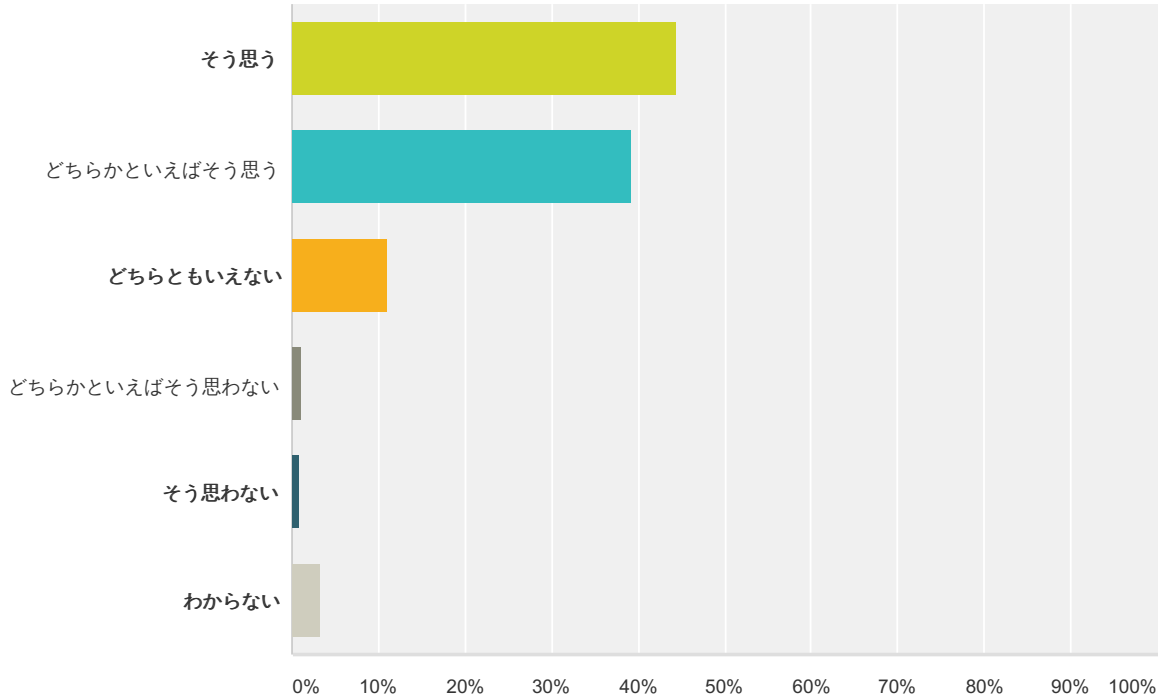
回答: 951 スキップ: 126



回答の選択肢	回答数
そう思う	32.91% 313
どちらかといえばそう思う	34.07% 324
どちらともいえない	17.67% 168
どちらかといえばそう思わない	6.94% 66
そう思わない	7.47% 71
わからない	0.95% 9
合計	951

Q32 JILSでは、IoTとロジスティクスを推進するための部会の設置を目指すなど、様々な準備を進めてきています。今後、日本において、IoT時代に対応したロジスティクスを推進するうえで、JILSの取組みに期待しますか。

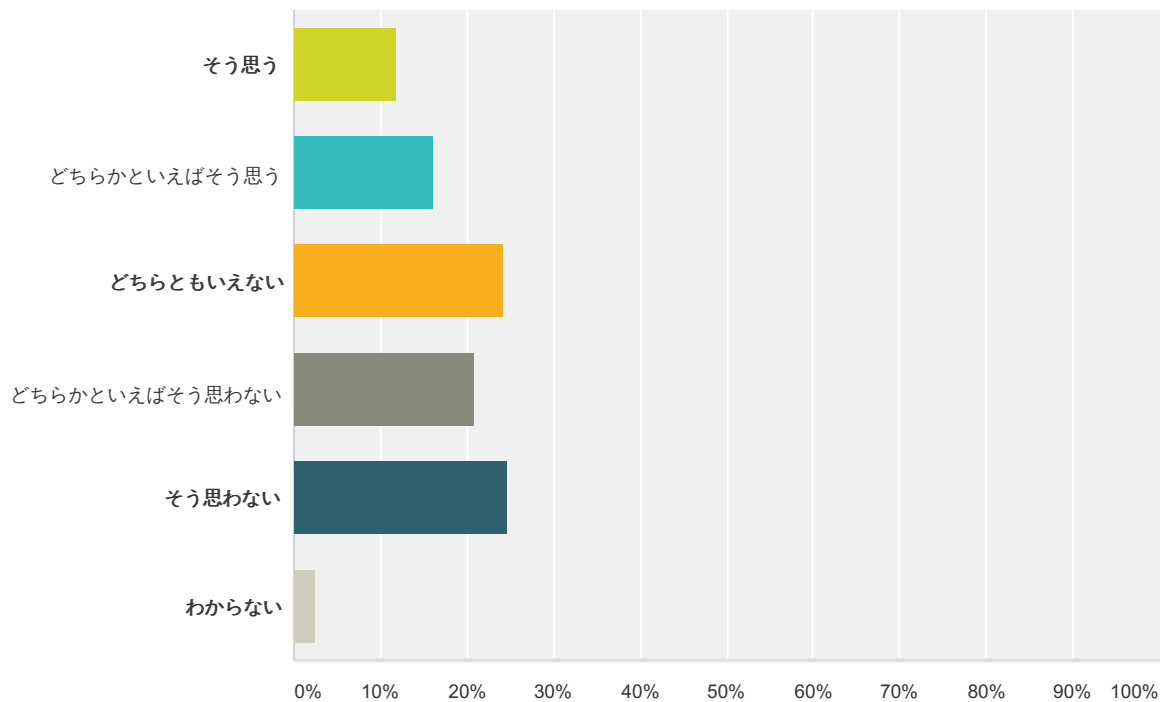
回答: 953 スキップ: 124



回答の選択肢	回答数
そう思う	44.49% 424
どちらかといえばそう思う	39.35% 375
どちらともいえない	11.02% 105
どちらかといえばそう思わない	1.05% 10
そう思わない	0.84% 8
わからない	3.25% 31
合計	953

Q33 2030年、配送トラックの無人走行が実現していると思いますか。

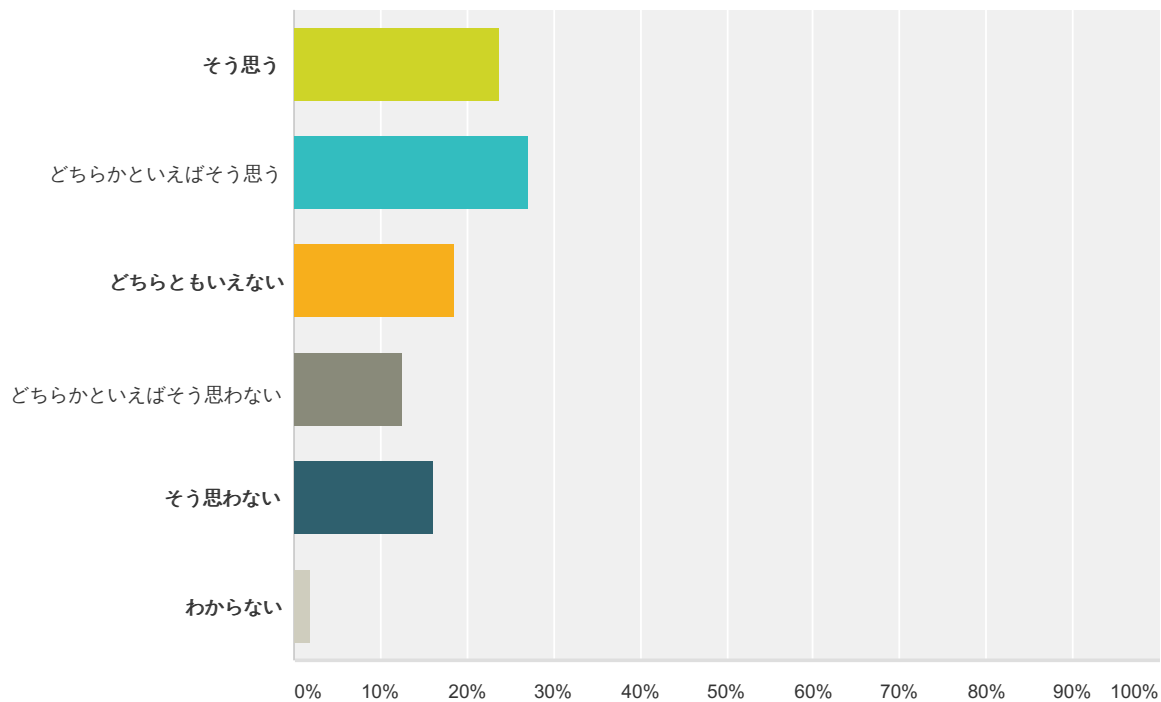
回答: 947 スキップ: 130



回答の選択肢	回答数
そう思う	112
どちらかといえばそう思う	152
どちらともいえない	229
どちらかといえばそう思わない	197
そう思わない	234
わからない	23
合計	947

Q34 2030年、大型幹線トラックの無人走行が実現していると思いますか。

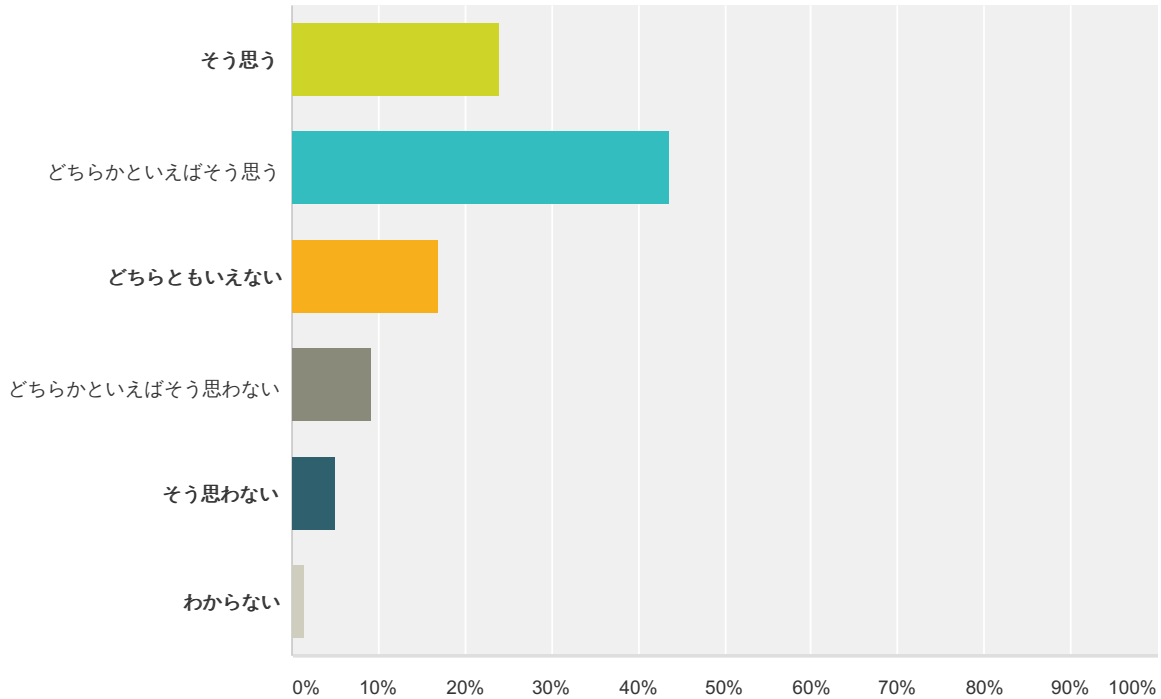
回答: 948 スキップ: 129



回答の選択肢	回答数
そう思う	23.73% 225
どちらかといえばそう思う	27.11% 257
どちらともいえない	18.67% 177
どちらかといえばそう思わない	12.55% 119
そう思わない	16.03% 152
わからない	1.90% 18
合計	948

Q35 2030年、トラックの稼働状態（積載率・走行ルート）をセンサーで把握して、情報を収集・分析することで、積載効率が向上していると思いますか。

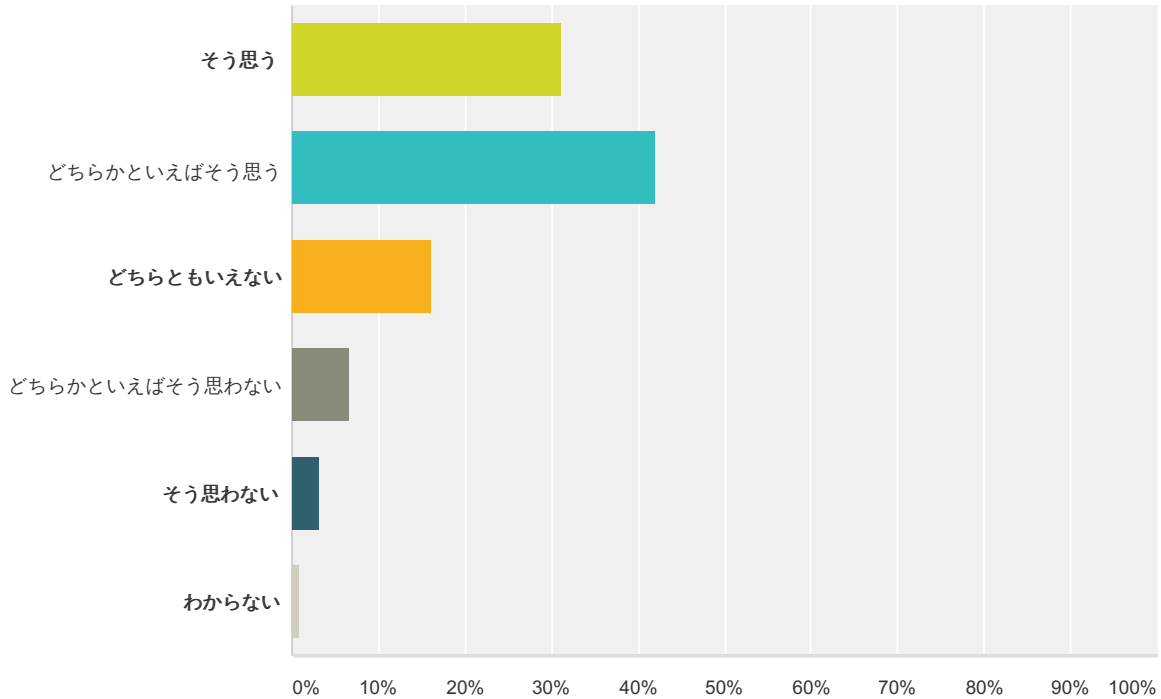
回答: 945 スキップ: 132



回答の選択肢	回答数
そう思う	23.92% 226
どちらかといえばそう思う	43.60% 412
どちらともいえない	16.93% 160
どちらかといえばそう思わない	9.10% 86
そう思わない	4.97% 47
わからない	1.48% 14
合計	945

Q36 2030年、身に付けて持ち歩びができる情報端末（ウェアラブル端末）などを装備することで、ドライバーの一連の作業が「見える化」されていると思いますか。

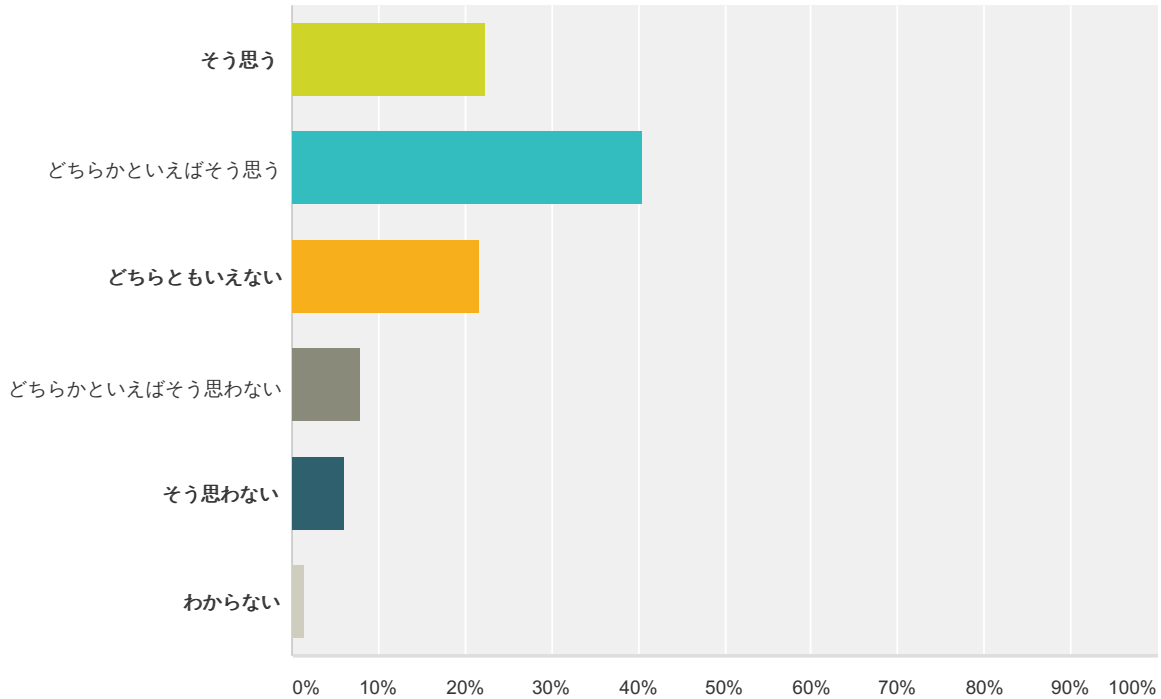
回答: 942 スキップ: 135



回答の選択肢	回答数
そう思う	31.21% 294
どちらかといえばそう思う	42.04% 396
どちらともいえない	16.14% 152
どちらかといえばそう思わない	6.58% 62
そう思わない	3.18% 30
わからない	0.85% 8
合計	942

Q37 2030年、荷役や検品データの収集と解析による、より高精度な入庫時間の予約システムが使われ、ドライバーの待機時間が削減していると思いますか。

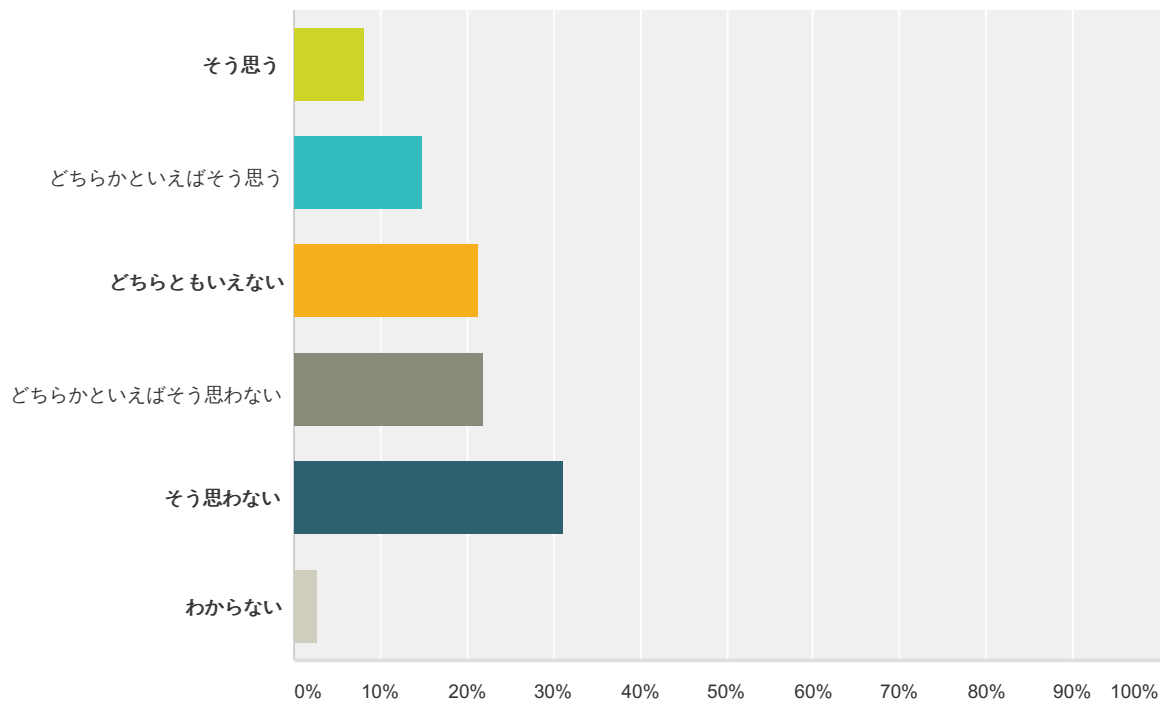
回答: 951 スキップ: 126



回答の選択肢	回答数	割合
そう思う	213	22.40%
どちらかといえばそう思う	386	40.59%
どちらともいえない	206	21.66%
どちらかといえばそう思わない	76	7.99%
そう思わない	57	5.99%
わからない	13	1.37%
合計	951	

Q38 2030年、完全無人化の物流センターが運営できると思いますか。

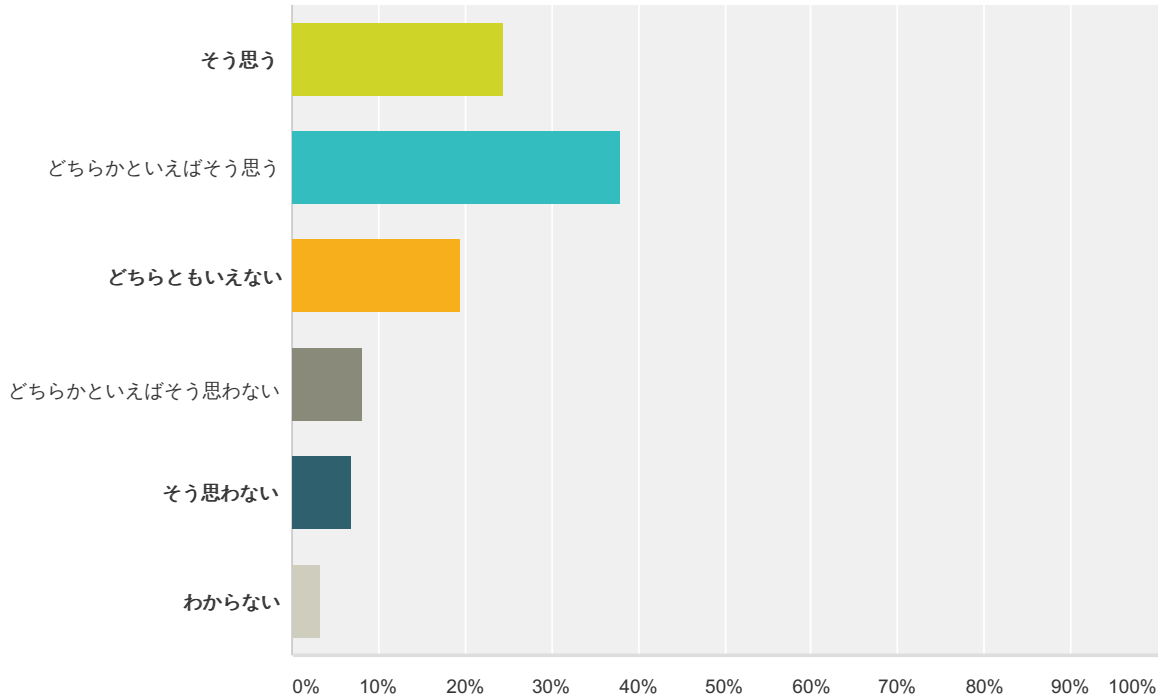
回答: 948 スキップ: 129



回答の選択肢	回答数
そう思う	78
どちらかといえばそう思う	141
どちらともいえない	201
どちらかといえばそう思わない	207
そう思わない	295
わからない	26
合計	948

Q39 2030年、商品にRFID (ICと小型アンテナが組み込まれたタグやカード状の媒体などから、電波を使ってモノを自動的に識別する技術) が付けられ、RFIDがサプライチェーンマネジメントの工程で、データ収集のためのセンサーとして機能していると思いますか。

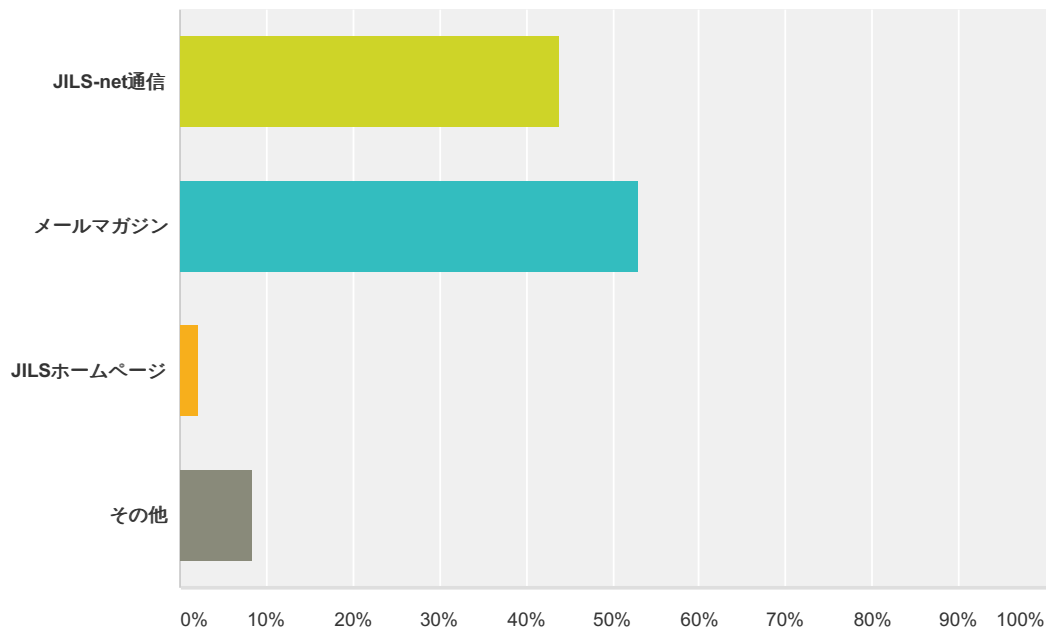
回答: 949 スキップ: 128



回答の選択肢	回答数
そう思う	24.34% 231
どちらかといえばそう思う	37.93% 360
どちらともいえない	19.49% 185
どちらかといえばそう思わない	8.11% 77
そう思わない	6.85% 65
わからない	3.27% 31
合計	949

このWebアンケートについて、何をご覧になられて、ご協力をいただいたのか、次の中から選択してください(複数回答可)。

回答: 701 スキップ: 376



回答の選択肢	回答数
JILS-net通信	43.94% 308
メールマガジン	53.07% 372
JILSホームページ	2.00% 14
その他	8.27% 58
回答数: 701	

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

JILS総合研究所

東京都港区海岸 1 丁目 1 5 番地 1 号 スズエベイディアム 3 階

Tel : 03-3436-3191

Fax : 03-3436-3190

URL <http://www.logistics.or.jp/>